

■第9期宇部市高齢者福祉計画（R6～R8）目標指標一覧表

A:単年度目標達成済または達成見込み
 B:単年度目標概ね達成見込み
 C:単年度目標の達成が困難（目標値との乖離が大）

資料1

基本目標	目標指標	R8目標	R6実績	R7目標	R7中間 (R7.11.30)	R7取り組み内容	R7中間評価	R7達成 状況	今後の取り組み
健やか (P47)	特定健康診査受診率（法定報告）	45.0%	35.1%	41.0%	18.4%	特定健診受診率向上対策として、人間ドック助成・職場健診インセンティブを実施。	人間ドック助成の申請者 6人 職場健診結果提出者 1人	C	健診については秋以降、受診者が多い傾向にあるため広報に掲載予定。 来年度以降も受診勧奨ハガキや受診勧奨チラシに記載し、周知していく。
	健康教室等の参加延べ人数	1000人	1,179人	1,000人	466人	・まちなか保健室を2者に委託し、拠点・巡回方式で開催。 ・健康遊具を使った介護予防教室を実施。（6、10、11月） ・広報、チラシ、いくよう、Web等で周知。	拠点に加え市内を巡回しながら開催することで、幅広い地域からの参加がある。 北部地域の参加者が少ないため、地域のサロンに呼びかける等広報を工夫していく。	C	・令和7年10月から開始した短期集中予防サービスの利用者に対して周知を行う ・教室の内容がより伝わりやすい周知の工夫
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の新規実施延べ箇所数	72か所	52か所	62か所	64か所	通いの場に医療専門職が積極的に介入し「フレイル予防」の講話・実技指導を実施。広報うべやチラシの配布、関係機関からの声掛けにより募集を広く周知した。	毎年度新規実施目標数10か所がR7年度12か所実施となり、目標達成できた。新規のみならず、継続実施の通いの場でも定期的な介入ができています。	A	地域によって実施か所数の差がある。実施の少ない地区には地区担当や地域包括支援センター、社会福祉協議会などの協力を得ながら実施につながるよう周知を図っていく。
生きがい (P49)	うベシニア大学修了者数	40人	33人	-	-	・令和6年度末で廃止	-	-	-
	就労マッチング成立件数	30件	-	10件	12件	・高齢者の就労、ボランティア活動等の情報を一元化したシニア活動マッチングサイト「いくよう」を導入。	魅力あるマッチングサイトとなるよう引き続き登録事業所、登録者数の増加に努める。	A	より多くの高齢者の活用につながるための取組を実施する。
尊厳 (P53)	関係機関との連携により成年後見制度につながった件数	50件	53件	40件	81件	・一時相談窓口向け研修会 年3回 ・市民向け講演会 全2回（内実施済1回） ・市政出前講座 1回 成年後見制度への理解を深めることでより連携が図れるよう取り組んでいる	関係機関への制度への理解と周知啓発により 連携が取りやすくなっている	A	市長申立てに限らず、関係機関と連携しながら本人・親族申立てのフォローも実施する。
	認知症カフェの設置箇所数	24か所	19か所	22か所	18か所	・市民への認知症カフェの啓発（チラシ、ウェブサイト、いくよう、地域イベント等） ・認知症地域支援推進委員会における情報交換 ・設置に向けた相談、支援	R7.3.31廃止1件 この時点で18か所 R7 新規開設 2箇所 廃止 2箇所	C	・認知症カフェ同士の交流の場を持つことで、継続するための情報交換や協力し合える関係を作る。 ・認知症カフェの認知度が低いため、市民、医療・福祉関係者への啓発を行う。
	見守り愛ネット事業配信メール及びLINE受信登録者数	15000人	9,649人	14,650人	12,671人	・市民への見守りメール、LINE登録の啓発（認知症サポーター養成講座、地域イベント、認知症月間等）	・LINEシステムの変更に伴う、再登録の周知ができていなかった。	C	引き続き市民に啓発していくと共に、LINEのシステム変更前に登録されていた方への再登録を依頼する。
安心 (P57)	サロン等の地域福祉活動拠点数	230か所	228カ所	232カ所	235カ所	各サロンの状況確認（83か所）。 サロンと既存資源とのマッチング 8か所。 サロンの新規立ち上げ支援 7か所。	既存サロンの巡回によりサロンが抱えている課題を把握できるようになった。 また、関係機関にアウトリーチしていくことでサロンに関するニーズを把握できている。	A	今後も引き続き既存サロンを巡回しながらサロンの継続について支援するとともに、多機関と連携を取り、新規サロンの立ち上げ支援を実施していく。
	福祉的課題を抱える世帯の課題改善率	65.0%	51.2%	55.0%	47.8%	支援会議の開催 17回 重層的支援会議の開催 6回	ひきこもり、生活困窮など、複合的課題のあるケースが増えており、課題解決に至らないことも多くなっている。	C	支援会議や重層的支援会議を積極的に活用し、課題解決に向け検討して行く。
	見守り愛ネット登録団体数（累計）	110団体	93団体	100団体	94団体	・地域包括支援センター、地区担当保健師を通じた登録協力依頼 ・企業から認知症サポーター養成講座の依頼があった際に見守り愛ネットへの登録依頼	引き続き認知症サポーター養成講座等の関連イベントで周知していく。	C	・高齢者宅を訪問する事業所への営業 ・おでサボ登録事業所やいくよう登録事業所への登録案内 ・登録周知チラシの見直し
	介護老人ホーム、生活支援ハウス、軽費老人ホームの定員数	539人	539件	539件	539件	・介護老人ホーム定員数 70人 ・生活支援ハウス定員数 72人 ・軽費老人ホーム定員数 397人	・介護老人ホーム定員数 70人（R7.10末入所者数 61人） ・生活支援ハウス定員数 72人（R7.10末時点入所者数 61人） ・軽費老人ホーム定員数 397人	A	令和7年度末で宇部西生活支援ハウス（定員12人）が閉鎖。 引き続き環境上及び経済的な理由又は家庭環境等により在宅での日常生活が困難な高齢者等の生活の安定を図る。
	短期集中予防サービス利用後の自立割合（卒業率）	63.0%	-	60.0%	-	・生活機能や運動機能が低下した高齢者が、リハビリ専門職等の支援を受けながら、元の生活を取り戻せるように90日間集中的に支援する短期集中予防サービスを10月から本格実施。	10月から本格実施のため実績なし	A	円滑に適切に実施できるよう関係者間の情報共有を行う。
基盤づくり (P61)	介護給付等適正化の促進（ケアプラン点検事業所数）	60件	128件	200件	119件	・運営指導によるケアプラン点検（44件） ・外部委託によるケアプラン点検（50件） ・短期入所利用者（長期利用）のケアプラン点検（25件）	引き続きケアプラン点検を実施するため概ね達成見込み	A	・運営指導によるケアプラン点検を引き続き実施予定 ・短期入所利用者（長期利用）のケアプラン点検を引き続き実施予定
	介護給付等適正化の促進（住宅改修の点検数）	48件	45件	48件	29件	福祉住環境コーディネーター2級の資格保有者を会計年度任用職員として採用し審査業務に充てている。申請書類や現地確認等を実施し、不適切な事例あれば助言・指導を行った	引き続き住宅改修点検を実施するため概ね達成見込み	B	引き続き住宅改修点検を実施予定
	介護職員等の人材確保の人数	17人	15人	20人	19人	・市ウェブサイト掲載 ・市広報掲載 ・介護サービス事業所に制度周知（メール、合同就職面接会にて）	目標達成予定	A	法人代表宛へメールを再度送付し、周知を図る。